

丹波篠山・福の住む里 福住さとねっと

Fukusumi Sato Net



令和6年3月21日

第 171 号

発行：福住地区まちづくり協議会

〒669-2513 丹波篠山市福住 342

TEL&FAX：079-557-0116

メール：fk.machikyo@gmail.com

地域おこし協力隊員



いな
稲ちゃん活動報告！

2月3日の「ふくすみ雪花火」で、私は駐車場の誘導係を担当しました。多数の来場者が見込まれたため、天引峠の峠道も臨時の駐車スペースとして使用されました。峠の中へ立ち入るのは初めてでしたが、古くには参勤交代の列もここを練り歩いたのかと思うと、感慨深いものがありました。

1月末にはSHUKUBAで開かれた古文書講座では、後川のお茶も福住を通して出荷されたと聞きましたが、当時の福住の賑わいは、相当のものであったらと想像します。江戸時代の宿場街には、



だいたい決まって盲人の按摩師がいたと聞きますが、福住にも何名か常駐していたの难道うかと興味を持っています。写真は、19世紀末に撮影された、盲人按摩師の姿です。通りで笛を吹いて、客を集めていたそうです。

「冬の黒豆ポタージュ」が完成！

= SHUKUBA 情報 =

SHUKUBA 加工所 福住 daidocolab. から新商品発売のお知らせです。

お味はとっても良いけれど訳ありなお野菜たちにスポットを当てた「農家のおすそわけスープ」シリーズの第一弾として「冬の黒豆ポタージュ」が完成しました！黒豆の風味やコクを存分に生かした満足感のあるスープに仕上がっています。スープベースには田中精肉店さんの鶏ガラを使わせていただいたり、今回も福住の美味しい食材にこだわって作りました。容量は200g。販売委託させて頂ける店舗募集中です！またSHUKUBA事務所および1階チャレンジカフェ内では直営価格の税込700円で販売予定です。

ぜひ一度味わってみてください！



ハートピア東館・後川店等の活用

= 東部6地区協議会活動報告 =

皆様ご存知のように、農協ハートピアマーケット(東部特産センター)・Aコープ後川店は2月27日に残念ながら閉店となりました。

東部6地区協議会では、この間、今後の活用希望者もない中で、ハートピア東館及び後川店の活用について、JAさんや市とも協議を重ねてまいりました。

結果、跡地を何とか前向きに活用させていただきたいと声をかけていただいた方がおられますので、紙面に紹介させていただきます。

大芋地区出身の村山恵一さん、雲部在住の丸井一正さん、同佐田祥毅さんの3名です。

それぞれコンサルタント、「里山工房くもべ」代表、デザイナーと多彩な顔ぶれで、今後の東部6地区の東の玄関口の賑わいのために、若い力を発揮していただけるものと確信をしております。3名は斬新な改革をしていきたいとの思い、決意をされています。

しかしながら、まだまだ運営までにクリアしていく点が多々あり、JAさんや市とも協議を重ねながらのスタートとなっていきますが、皆様にはなが〜い目で見守っていただきたく、宜しくお願いたします。

6地区協議会も「利活用検討委員会」を新たに立ち上げ、日置の中西幸治委員長、大芋の江坂道雄副委員長を中心に各地区代表、戦略会議、事務局の13名で今後、じっくりと東館や後川店等の将来像を描いていきたいと考えていますので、地域の皆様の応援、叱咤激励をお願いいたします。

NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」

- 加工賃：1kgあたり420円
- 真空パック：1kgあたり25円
- 申し込み：ご希望の方は加工所営業時間に電話(080-9534-4275)まで
- 営業時間：月・水・木曜日の午前9時～午後5時



「米粉の日」は、毎月第4木曜日に定期開催！

3月は28日(木)、4月は25日(木)開催予定です。※その他の日でも相談頂ければ対応いたします。



みなさんからの「福住さとねっと」への

投稿・情報提供お待ちしております！

=さとねっと編集部=

防災訓練実施！ =まち協生活環境部会=

2月28日(水)福住コミセンにおいて、まち協生活安全部会主催の防災訓練を開催しました。今年度は、防災DVD「水害から命を守る備えと避難行動」の視聴。内容は避難行動の考え方、備え、避難のタイミング、そして「共助」の考え方についてでした。特に地域で支えあいながら避難を行うという「共助」の考え方は、地域で暮らすうえで大切なものだとすることを改めて確認し、DVDをきっかけに防災に関する意識や理解を深めることが大切だということ改めて認識した訓練となりました。



篠山早朝散歩&朝カフェ in 小野奥谷開催！

丹波篠山市各地の集落を早朝から散歩、地域の魅力を探る「篠山早朝散歩&朝カフェ」が、3月2日(土)7時から福住で開催されました。

今回の散歩は小野奥谷集落。谷の一番奥、山中にある神社、熊野権現社を目指すルート。

丹波篠山市、丹波市を中心に、当日の参加は21名。遠くは京都からの参加もありました。「たまに国道372号線を通るので『熊野権現社』の案内看板は見えていましたが、本当に訪ねることができて嬉しい。社は何と1427年の設営、地域の歴史に触れた思いです」とは参加者の弁。

3月とはいえ田んぼの用水にはまだ氷が張っているほどの冷え込み。雪景色の中のお散歩。凜とした空気と、墨絵のような美しい風景の中の散歩は、とても魅力的で貴重な時間でした。

散歩後は、昨年8月にオープンした「モグモグ☆ベース」さんの美味し朝食を楽しませていただきました！



「レッツまき！」活動報告

福住で、森林資源の活用に取り組んでいるグループ「レッツまき！」。

集落所有林の間伐材や、不要樹木の整理などを行なっています。

3月の活動は、放置間伐材の整理と栗林枯木の伐倒でした。

メンバーは、移住された方と現地の者が半々。プロの指導を受けつつ、SDGsの目標の一つ「森の豊かさも守ろう」に基づき、少しずつですが福住の持続可能な森林管理に努めています。



丹波篠山国際博

～福住地区で取り組む7団体～

このチャンスに、日本中に、世界へ、『福住の魅力』を丹波篠山国際博HPを通じて発信します！

- ・安口東自治会、及び安口西自治会の「安口の歴史文化」
- ・川原自治会の『亥の子』『山の神神社祭礼』
- ・住吉神社の『水無月祭』、
- ・熊野新宮神社の『八朔祭』、
- ・NPO法人SHUKUBAの『シュクバオープンデー』、
- ・福住まちなみ保存会の『保存活用が進む伝建地区の町並み歩き』
- ・福の里農業小学校の『福の里で野良しごと』

丹波篠山国際博6部会のうち、福の里農業小学校は『自然の恵み部会』、他の全ては『長ーいお付き合い部会』に所属しています。

第3回古文書講座を開催！

福住村の茶荷物論争

～後世に解決を託された『庭売一条』Part2～

= SHUKUBA 情報 =

第3回の古文書講座は2月28日(水)、参加者21名で、前回のお話の続きを神戸大学大学院特命助教の松本充弘先生にいただきました。

<前回までのお話>

前回のお話では、福住村の村役人が「福住を経由しない茶荷物や穀物などが増加しており困っているため抜け荷をやめさせてほしい。」との願書を藩の代官所へ出したところ、代官所で郡(ぐん)取締(とりしまり)役の仲裁があり「他領の商人に庭売(にわうり)(直接販売)する場合は勝手次第(思うようしなさい)」としました。山田加右衛門(福住村庄屋)はその判断を聞き「庭売り勝手次第は、昔のきまりと合わない。茶荷物は商人荷物なので手数料を取るべき。」として、この仲裁(ちゅうさい)には承知できないとしました。

<和解の経過>

山田加右衛門は、今回の内済(ないさい)案(直接売りの案)が不服であり、再び篠山城下町に出向きました。この時、郡取締は内済案(直接売り)は、現実に行っているため認めるべきとの回答しました。しかし、その日は後川側に欠席があったので決まらず、後日に持ち越しました。

1か月後、山田加右衛門ら4人は再び城下町に行きました。曾地・後川側は他領に庭売(直接販売)をする場合は、宿駅(しゅくえき)(福住)は口銭を取らないはずなので、内済状(和解状)に「口銭を取らない」を明記してほしいと要望を出しました。これに対して福住側は、「これまでの慣行では口銭を取らないということなので異存はない。しかし明記することを念押しするは疑念がある。」として、郡取締りの内済では不服なので、代官に判断をゆだねました。

郡取締りから代官に伺ったところ「曾地・後川の百姓が猪名川や池田方面に直接販売するのは勝手次第(思った通りにせよ)。他領の商人にはそのことは当てはまらない。」として、この問題は棚上げ(保留)として、内済状(和解の文書)を作成することになりました。

=紙面の関係で2回に分けて掲載します。(次号に続く)=